

アイ・リンクだより



真心はこび ^{ひと} 人財づくり

令和2年 1月
NO.89

代表年頭挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

おかげさまで、無事に新しい年を迎えることができ、心より感謝致します。

また、アイ・リンクグループの皆様、そして、ご家族の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様もご存知のとおり、今年は「子年（ねずみどし）」ではありますが、「子年（ねずみどし）」に込められた意味としては、新しい運気のサイクルの始まりという意味があるそうです。

また、ねずみは「ねずみ算」という言葉があるほど、子どもをたくさん産んで数を増やしていくことから、「子孫繁栄（しそんはんえい）」の象徴とも言われております。



代表 石島 久司

アイ・リンクグループでは2019年度の基本方針を「自立型組織への転換」と掲げ、来年度、アイ・リンクグループの分社化の準備の年としました。また、来期の基本方針が「第二創業への変化と挑戦」と決まりました。創業期のようながむしゃらに何でも挑戦して行く年として、新しい運気のサイクルを創れるよう、行動して頂ければと考えております。

そのためにも今年度のスローガンでもある「明るく元気に」を目指し、一人ひとりが「明るく元気に」なることが大切だと考えております。そうすることで、前向きな姿勢や考え方をするようになり、新たな行動が生まれ、一人ひとりの力が結びつき、それが輪になり、より良い組織を創っていけると確信しております。そのため、皆で一致団結し、昨年ラグビー日本代表の様なワンチームを目指して頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、アイ・リンクグループの皆様、そして、ご家族の皆様のご健勝とご多幸をお祈り致しますと共に、本年もより一層のご協力とご支援を賜りますよう、心よりお願い致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

アイ・リンクグループ 東日本ブロック

アイ・リンクグループ社員の皆様・ご家族の皆様、新年あけましておめでとうございます。
2020年の年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年も皆様には、一年間多大なご尽力、ご協力をいただき誠にありがとうございました。心より深く感謝申し上げます。またご家族の方々にはいつも暖かいご支援をいただきまして、この場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は元号も変わり、新しい時代の幕開けとなったわけですが、皆様におかれましては令和元年はどんな年だったでしょうか。華やかなスタートの年ではありましたが、一方では今年も各地で台風による多大なる被害が出ました。また、高齢者の運転による悲惨な重大事故も大きな社会問題となっております。そんな中、我々の物流業界も多くの問題をクリアしていかなければなりません。地球温暖化問題、交通事故撲滅など、いま出来ることをしっかりと行動に移していくことが肝心です。エコドライブ・事故ゼロを一人ひとりが意識し危機感をもって、日々の業務を宜しくお願いいたします。

そして、今年はグループにおいても転換期の年になることと思います。より一層、強固な組織として活躍できるよう取り組む所存でございます。今年も社員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

また、今年は東京オリンピックが開催されます。この大きなイベントを楽しむためにも、日々事故なく安全業務をして参りましょう。

最後になりますが、アイ・リンクグループ全社の発展と、社員の皆様をはじめ、支えていただいているご家族の方々のご健康とご多幸を心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



東日本ブロック長
(株)石島運輸倉庫
常務取締役 毒島 洋一

アイ・リンクグループ 安全管理部

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、グループ各社の社員様をはじめ、ご家族の皆様におかれましても、事故防止へのご協力、ご理解をいただき、この場をお借りまして厚くお礼を申し上げます。

さて、グループ内の交通事故情勢ですが、昨年同時期と比べると年度当初から一進一退を繰り返し、現在もそのまま推移している状態です。事故形態の9割は、毎年度と変わらず、駐車車両やフェンス等の静止物件に衝突するもので、「確実な安全確認」により、防ぐことの出来る事故ですから、確実な安全確認で「事故0」の達成を目指しましょう。

今年も、全ての社員の皆様が、毎日無事に、ご家族の元に帰ることが出来るよう、事故防止対策を進めてまいりますので、今後とも、ご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、社員の皆様をはじめ、ご家族のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



安全管理部
部長 松本 政久

(株)石島運輸倉庫 関東支店

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は、皆様のご尽力とご家族の方々の多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

さて、現在も燃料の高止まりが続くなど、物流業界を取り巻く環境は厳しい状況下にあります。昨年の輸送部門においては、10名のドライバーさんに入社して頂き、とても活気づいてきたと感じます。新車の導入も行い、お客様からも好評を得ております。今年も良いスタートが出来るものと思います。

また、倉庫部門においても、多くの優秀な社員さん・パートさんに入社して頂きました。新規業務の開始や、日々の業務改善等の努力が実を結びつつあります。今年も数件の新規案件を控えており、現状に油断する事なく取り組んでいきたいと思っております。

本年も全ての業務において「安全対策」を最優先にし、皆様が安心して働いて頂けます様、努力して行く所存です。皆様には、安全意識を更に向上させて頂き、事故防止対策へのご協力をお願いいたします。

最後になりますが、アイ・リンクグループ全社の発展と、皆様をはじめご家族の方々のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



(株)石島運輸倉庫
関東支店
取締役支店長

川島 清

(株)マルトウ

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は社員の皆様を初め、ご家族の皆様、アイ・リンクグループ企業の皆様方におかれましては格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。この場をお借りし深く心より感謝申し上げます。

さて、昨年の国内経済を見まわすと雇用問題や所得環境の改善が続く、内需は一定の底堅さを維持しています。しかし、原材料や人件費の上昇により企業収益は圧迫され、世界経済の減速に伴う輸出の減少から先行き不透明な状態が続くと懸念されております。

また、5月の改元に伴う大型連休によって個人消費は若干伸長したものの、米中貿易摩擦の影響もあり輸出の停滞は続いており、消費税増税目前の特需もほとんど無く、日本経済の減速は続いております。

そして、働き方改革については、完全週休2日制の実現に向け、労働時間短縮や荷待ち時間・付帯作業の見直しに努め、生産性の向上が必須となりました。

また、有給取得など社員さんの労働環境を改善しつつ、従前のサービス水準の維持確保が目下の課題となりましたが、顧客様のニーズには応えていかなければならない状況でした。そのように働き方改革による環境整備により、外部委託費の上昇や社員さんの処遇改善といったコスト増の影響が大きかった事をご理解して頂きたいと思っております。そこで課題克服に重要なのは関係性・連携性を高める「五方良しの経営」と考えており、まずは、その原動力となるES（社員さん満足度）の向上に奮起し「ONE TEAM MARUTO」を創り出していきたいと思っております。そして、変化の時代に順応していくにも皆様方のご理解ご協力が必要であります。

どうか本年も皆様方のご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

最後にはなりますが、グループ各社の発展と社員様、ご家族の皆様のご健康とご多幸をご祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



(株)マルトウ
専務取締役

澤田 豊

(株)石島運輸倉庫 西日本支店

新年明けましておめでとうございます。

アイ・リンクグループ皆様、そしてご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎え、心よりお喜び申し上げます。

さて、物流業界におきましては、ここ数年は深刻なドライバーさん不足に悩まされ、燃料価格の高値止まり、そして昨年10月には消費税が10%に増税される等、取り巻く環境は一層厳しい状況になってきております。

このような環境の中で、昨年5月から新しい元号「令和」がスタートを切り、新天皇が10月に即位されました。西日本ブロックは、節目となる元号の下、経営理念「真心はこび 人財づくり」をぶれない基軸として、社員さん・パートさんと一丸となって、環境の変化等に対応すべく「チェンジ&チャレンジ」していきたいと思っております。又、4月からは株式会社石島運輸倉庫は分社化により、新たな第一歩を踏み出しますので、より一層の皆様のご協力ご指導を宜しくお願い申し上げます。

次に株式会社アイ・リンクサービスですが、厳しい求人状況の中で、パートナーさん確保に苦戦を強いられており、又、4月からは「同一労働同一賃金」が施行されます。派遣業界におけるこの逆風は、捉え方によっては当社においては千載一遇のチャンスとし、新たな基盤固めの1年として鋭意邁進する所存であります。特に求人情報につきましては、皆様のご協力と情報の提供を宜しくお願い申し上げます。

最後に末筆ではありますが、「子年は繁栄」という格言があり、又、東京オリンピック・パラリンピック開催からも活気ある一年になると思っております。アイ・リンクグループ皆様とご家族様におかれましても、益々のご繁栄とご多幸、そしてグループ全社の揺るぎ無き発展を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



(株)石島運輸倉庫 西日本支店
取締役支店長
(株)アイ・リンクサービス
代表取締役

和田 真作

全京運輸(株)

アイ・リンクグループの皆様、新年明けましておめでとうございます。

おかげさまで、無事新年を迎えられるのも、ひとえに皆様のご協力の賜物です。この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。

昨年は、年号も平成から令和と変わりましたが、自然災害の多い年となりました。台風15号・19号・21号では、大きな台風大雨被害が相次ぎました。

そんな中、ラグビー・ワールドカップ日本大会が開催され、テレビにくぎ付けになった人も多くいたのではないのでしょうか。

今年は自立型組織元年になります。個々それぞれが強調して、連携し、お互いを理解し合える関係を保ち、「自分が源」を実践して行きましょう。

また、アイ・リンクグループ全社一丸のチームワークで、お客様へ信頼と満足を提供していきましょう。

そして、輸送部門・倉庫部門・人財派遣部門それぞれのシナジー効果を出しながら、アイ・リンクグループ全体で最大限の結果を残していきましょう。



全京運輸(株)
代表取締役社長

上田 二三夫

アイ・リンクグループ 埼玉エリア

新年明けましておめでとうございます。

昨年中におかれましては、社員さん・パートさんをはじめグループ各社の皆様・ご家族様には、多大なご協力・ご尽力を頂き、心より感謝申し上げます。お陰様で無事に新しい年を迎える事ができました。

さて、2019年の当社を振り返りますと、アイ・ロジアドバンスに関しましては、既存顧客の物流品質向上に向けての取組に特化した年になりました。品質向上に取り組む上で一番の課題である人手不足問題が解消されない中、様々な対策・改善を繰り返しながら遂行した結果、年度後半には効果が見え始め、徐々にではありますが物流品質向上に繋がる年になりました。コルネットに関しましては、2019年度の一番の取組として掲げておりました、倉庫マネジメントシステム導入・稼働を少数顧客ではありますがスタート出来た事が収穫になりました。また、将来の主要顧客になり得る可能性のある、新規のお客様との取引を開始させていただいた年となりました。

2020年の物流業界は、益々注目されている人とロボットの協働・物流サービスレベルの見直し・宅配受け取りの多様化等、更なる変化が想定されております。当社も関係する事柄ですので、視野を広げ動向と水準を見極め、サービスレベルの見直し・新たな仕組み作り等、先を見据えた改善に着手していきたいと考えております。

当社の2020年の主な取り組みとして、3PL事業につきましては、特定既存顧客の外食物流首都圏エリア獲得と医療機器関連の新規業務の稼働を目指していきます。倉庫事業につきましては、新倉庫の稼働による業務拡大と倉庫マネジメントシステムの主要既存顧客への導入を目指していきます。また、付加価値やサービスの提供を更に充実させ、既存顧客への信頼拡大、新規案件・顧客の獲得を強化していきます。また、将来的な戦略も視野に入れ、新業態・業種へのアプローチや新規事業への取組を積極的に推進していく年として、継続的な会社の発展及び社会貢献に繋がる企業作りを目指して参ります。また、グループ各社との営業・業務連携に尽力し、グループ全体の躍進に貢献できる様、取り組んでいく所存でおりますので、皆様方のご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



埼玉エリア長
 (株)アイ・ロジアドバンス
 (株)コルネット
 専務取締役

池田 泰孝

(株)アイ・リンク/社長室

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、穏やかな日々をお過ごしのこととお喜び申し上げます。

ご承知の通り、平成から令和となった昨年は消費税の増税や台風などの自然災害が頻発し、とても多難な一年となりました。幸いにも我が社は、自然災害の影響も少なく無事に一年を送ることができました。これも、社員の皆様の協力により、影響を最小限に留めるべく最大限の努力をした結果だと思ひ感謝しております。ご尽力、ご協力いただきました社員、ご家族の皆様には、この場をお借りして御礼を申し上げます。

今年は、大きなグループ再編の年となります。その中で株式会社アイ・リンクはグループ社員の皆様が安心して働けるように、日々感謝を込めて働きやすい職場作りのお手伝い業務を行っていきたくと考えております。そして、来年の健康経営取得に向け今年は準備行い必ず取得できるようにしていきたいと考えております。

また、今年はオリンピックの年でもあります。物流においても混乱が予想されますが、素早い情報提供により社員の皆様の業務を徹底的にアシストしていく所存です。そして、今年一年グループ社員皆様と一丸となり2020年が素晴らしい年となるよう努力していく所存です。皆様のご協力をお願いいたします。



(株)アイ・リンク
 取締役
 社長室長

石島 真也

平和自動車工業(株)／経営企画部

アイリンクグループ役職員の皆さま、明けましておめでとうございます。
 皆さまにおかれましては、本年が素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

経営企画としては、いよいよ中期戦略も最終年度となり、皆さんと共に中期ビジョンを実現させる年としたいと思っております。

平和自動車では、昨年、フォークリフトの販売参入、電気バスの架装事業立ち上げ等、様々な挑戦をして参りました。おかげさまで、なんとか今年度での黒字化にめどがついてまいりました。

翻って、今年の干支は「庚子（かのえね）」だそうで、十干十二支で見た時、庚子は変化が生まれる状態、新たな生命がきざし始める状態。という意味があるそうです。全く新しいことにチャレンジするのに適した年とも言えるでしょう。

まさに我々も新工場発足から3年目、そして中期経営計画最終年度として、ステップアップ、シフトアップを目指す上で重要な一年になります。私自身は特に一つ一つをしっかりと実現することに注力を注いでまいりたいと思っております。

最後になりますが、アイリンクグループ役職員の皆さん、そしてその皆さんを支えるご家族の皆さんの健康を祈念して年頭の挨拶させていただきます。ありがとうございました。



平和自動車工業(株)
 代表取締役社長
 経営企画部 部長

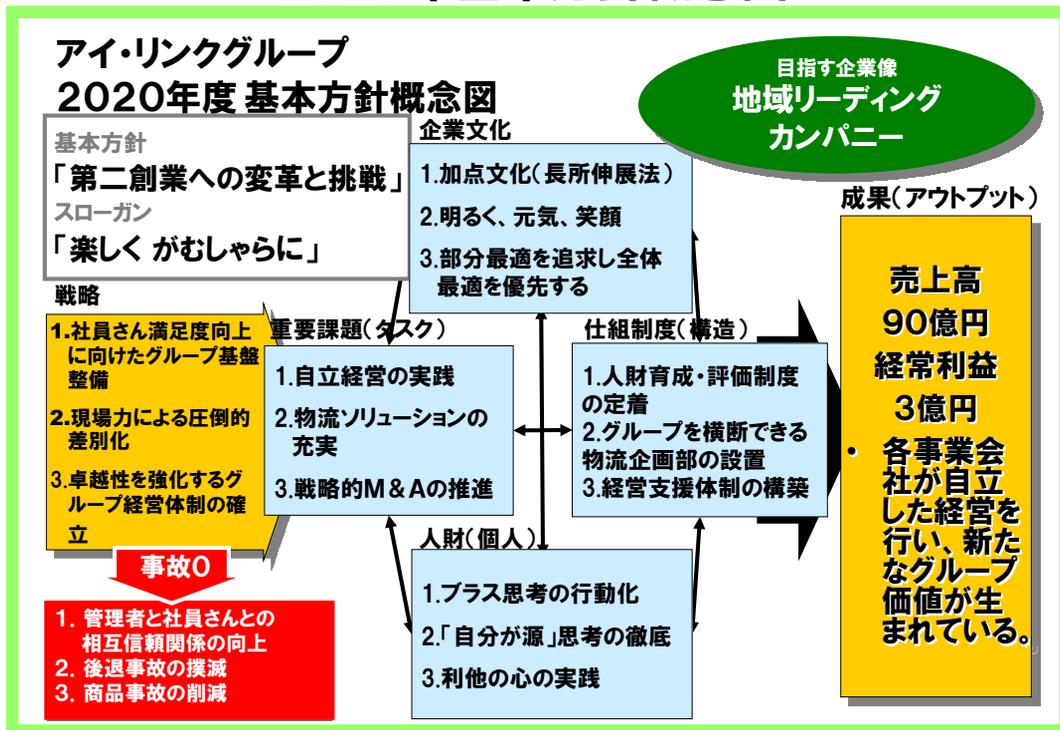
深井 俊光

来期グループ方針策定会議

2019年12月23日（月）、石島代表を始めとして、アイ・リンクグループ東日本ブロック、埼玉エリアの幹部が集まり、来期経営計画戦略会議が開催されました。来期のグループ基本方針は、“第二創業への変革と挑戦”と決まりました。

また、『楽しく がむしゃらに』をスローガンと掲げ、活気ある社風創りを目指して、グループ一丸となり頑張っていきましょう！

2020年基本方針概念図



2020年元旦 安全祈願祭

2020年1月1日、根本山神社様においてアイ・リンクグループ安全祈願祭が執り行われました。石島代表、専務を初めとする27名の参加となりました。本年もグループ全体が一丸となり事故ゼロを目指しましょう！！



石島代表



石島専務



群馬自動車大学校様：会社説明会

平和自動車工業(株)

昨年12月20日（金）群馬自動車大学校、国際エンジニア課2年生の学生さん27名と教員3名が平和自動車工業の会社見学に来社されました。

アイ・リンク会議室ではアイ・リンクグループ及び平和自動車工業の会社説明、BYD様（平和自動車工業お取引様）が平和自動車工業との業務内容を、各社でプレゼンを行いました。

学生さんはメモを取りながら真剣に話を聞いて頂きました。

そして、平和自動車工業の会社見学では、リフトやタイヤドーリーを使用し、タイヤの脱着作業を見て頂きました。その後、3班に分かれ工場内の設備や雰囲気平和自動車工業の皆で紹介しました。

学生さんは最新設備や綺麗な環境に驚いており、メカニックの社員さんに様々な事を質問していました。



← 会社説明会の様子
会場：(株)アイ・リンク



← 会社見学会の様子
会場：平和自動車工業(株)

